

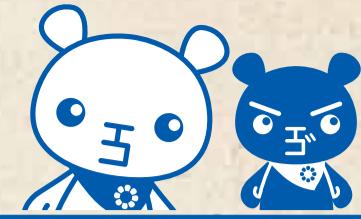
特大号

平成27年3月

Vol.33

PCB News

PCB(ポリ塩化ビフェニル)を一日も早く根絶するため、東京以西31都府県のPCB廃棄物を広域的に受け入れ、若松区響町にある国の大処理施設で処理しています。



© teitan&black-teitan,City of Kitakyushu

PCB 処理だより

トピックス



北九州市における今後のPCB廃棄物処理について

今年4月からPCB処理の拡大・延長がスタートするのに先立ち、本市の処理計画や要綱、事業会社との環境保全協定などの体制を整備しました。市はこの新たな体制の下、全てのPCB廃棄物を安全に、かつ、一日も早く処理するため、全力を尽くしていきます。

安全対策

- ・収集運搬の安全性を確保するため、市内におけるPCB廃棄物の運搬方法や輸送経路を限定するとともに、若戸大橋、トンネルをはじめとする輸送経路の維持補修等を実施します。
- ・処理の安全性を確保するため、PCBを処理する事業会社に対し、長期安全計画の提出とともに、これに基づく設備や機器の補修・更新、トラブルの未然防止対策などの確実な実施を求める。

取組みのポイント

早期処理対策

- ・トランク・コンデンサは平成30年度末まで、安定器等・汚染物は平成33年度末までを処理完了の目標期限とし、相応の理由がない場合には期限経過後の受入れを拒否します。
- ・国及び事業会社、関係自治体や関係団体等と連携し、未処理機器の把握や事業者に対する早期処理の周知・指導を進めます。

地域の理解の促進

- ・処理の進捗に関する市民説明や環境ツアーを継続的に実施するとともに、国及び事業会社、関係自治体と連携し、関係者と地元地域との交流を進めます。

確実な取組みの担保

- ・本市に持ち込まれるPCB廃棄物の安全確保や早期処理に関する取組内容を確認し、必要な水準が確保されていない場合には受入れを拒否するとともに、本市が行う安全対策等に対する協力金を含めた幅広い協力を関係者に求めます。



PCB処理に関する情報発信

PCB処理に関する疑問や北九州PCB処理施設での処理の進捗状況や周辺の環境モニタリング結果まで幅広くセンターやホームページを通じて発信します。

(1) 環境・コミュニティセンター

●場所

若松区本町2丁目9-4(明治町銀天街内)

●開館時間

月曜日~土曜日の9:30~17:30

●内容

PCB廃棄物が現在どこを運ばれているのか、運搬車の位置を随時モニターで表示するなど、PCB処理の状況を分かりやすくお知らせしていきます。



PC
こ
で
チ
エ
コ
ッ
ヒ
ク
は
！



(2) PCB処理に関する情報サイト

●ホームページ

<http://www.waste-info.jp pcb/>

●内容

PCB処理の安全性や進捗状況、また、環境ツアーや市民説明会など、皆さんに必要とされる幅広い情報を随時更新し、お知らせしていきます。



発行元

北九州市環境局環境監視部産業廃棄物対策室

〒803-8501 北九州市小倉北区内1-1 TEL:582-2175 FAX:582-2196

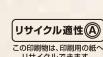
メールアドレス : kan-haikibutsu@city.kitakyushu.lg.jp

※PCB処理の進捗など、地域の集会等に市の職員が出向いて、説明を行います。ご希望の方は上記までご連絡ください。

※PCB処理だよりについて感想やご意見ございましたら、上記連絡先までご連絡ください。

※この事業について、詳しくは専用ホームページ (<http://www.waste-info.jp pcb/>) で!!

本紙は古紙パルプを含む再生紙を使用しています。平成27年3月 No.1411080F



レポート
1

安全対策

PCB処理についてはトラブルや環境への影響もなく、順調に進んでいます。

今年4月からの延長に先立ち、PCB収集運搬・処理時に事故が発生した場合に備え、消防活動用資機材を更新・配備しました。



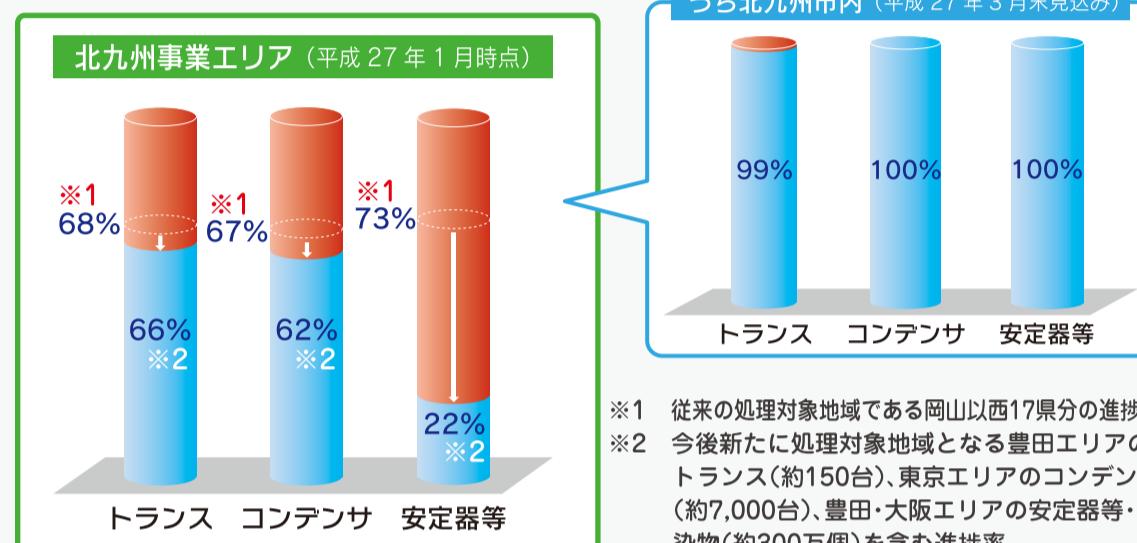
事故を想定した訓練の様子

レポート
2

早期処理対策

市内分は目標どおり概ね処理が完了しました。今年4月から新たに受け入れる地域も含めた処理対象量を把握し、今後の処理に向けた体制を整えました。

●処理の進捗



広域連携会議の様子

- 平成27年1月29日(木)、PCBを持ち込む全関係自治体や国等と連携協力体制を構築することを目的に『広域連携会議』を本市で開催しました。今後の情報共有とともに、自治体や国から市民の理解に感謝の言葉があり、処理完了に向けた決意が表明されました。

レポート
3

地域の理解の促進

新たに国が直接市民に説明する場、情報発信拠点やホームページなど情報を公開する基盤を整えました。

平成27年1月19日(月)、国主催の『市民説明会』が開催され、処理の見通しなどに関する市民の疑問に直接答えました。今後は、毎年定期的に行われる予定です。



説明会の様子

レポート
4

確実な取組みの担保

国の条件履行状況を確認するとともに、監視機能の強化などを行いました。

平成27年1月19日(月)、『PCB処理監視会議』を開催しました。事業会社から「処理は順調」との報告、国からは市の27項目の受入条件の履行状況についての説明があり、委員から大きな指摘もありませんでした。今後は、学識・市民サイドの両面から体制を拡充し、以下の体制で臨んでいきます。



監視会議の様子

氏名	所属
浅岡 佐知夫	元北九州市立大学国際環境工学部教授
内山 仁志	北九州9ヶ浦漁業権管理委員会委員
大石 紀代子	北九州市女性団体連絡会議副会長
大庭 卓朗	若松区自治総連合会会長
梶原 康弘	北九州9ヶ浦漁業権管理委員会委員長
河井 一明	産業医科大学産業生態科学研究所教授
清田 高徳	北九州市立大学国際環境工学部教授
倉光 信子	北九州市女性団体連絡会議事務局長
郡山 一明	一般財団法人救急振興財団救急救命九州研修所教授
古柴 敏夫	市民公募委員

氏名	所属
嶋津 元彦	市民公募委員
末松 正典	公益社団法人日本技術士会九州本部北九州地区顧問
津田 潔	市民公募委員
長井 忠夫	若松区自治総連合会会計
成田 裕美子	市民公募委員
古野 和彦	市民公募委員
松永 裕己	北九州市立大学大学院マネジメント研究科准教授
山口 隆広	市民公募委員
吉永 耕二	九州工業大学名誉教授

※50音順、敬称略